


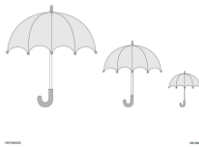
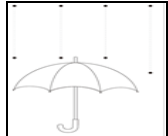
# 2歳児クラス 6月 第2回 「ちいさな きいろい かさ」

保…保育士 講…講師 ★…保育士が準備する教材

## シアタータイム

導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>保:「ぼつぼつぼつぼつ」雨つぶで雨を降らせるように登場。</li> <li>講:「わあー 雨が降ってきたー」</li> <li>保:「この傘に入ってー」と絵本を提示。講師に手渡す。</li> <li>講:「大きな傘。(表紙を見ながら)あれ?もう誰か入っているみたいよ。ちょっと覗いてみましょうか?」とお話に入る。</li> </ul>	教材	
	読み方	<ul style="list-style-type: none"> <li>①擬音・擬態語を気持ちを込めて表現する。</li> <li>②特に「ざあざあ」「ばんぱら」など場面に合わせた雨の音の変化が感じ取れるように読み進める。</li> <li>③お話の進行に合わせて変化する傘の様子に気付かせる。</li> </ul>	

## がくしゅうタイム

活動①	比較	3匹の大きさの違う動物を比較してそれぞれの大きさの合う傘に入れることができる	
設問	傘の大きさを比べてそれぞれの大きさに合った傘に入れてあげましょう		教材
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>講:「雨の日もみんな仲よし良かったね!」</li> <li>保:「こんにちは」とゾウの後ろに隠れるようにウサギ・ネズミを重ねて登場。「雨がやんだから一緒にあ・そ・ぼ!」と言いながら講師に手渡す。</li> <li>講:「ゾウさんこんにちは!あれ?誰か後ろに隠れているよ。だーれかな?(ウサギ)びよんびよんびよん♪」と登場。次に同様にリズムに乗ってネズミも登場させる。指さしながら動物の数を数え、大きさの違いに気付かせ「一番大きいのは?(ゾウ)一番小さいのは?(ネズミ)じゃあウサギは?」子ども達と「中くらい」のことは確認し、子ども達と一緒に言ってみる。「え?まだお友達がたくさんいるんだって。みんなのところにも来るかなー」</li> <li>保:「こんにちはー」と言いながら子ども達にカードを配布する。</li> <li>講:子ども達と一緒に3匹の動物名称と大きさの比較を再度確認してから、まずはカード遊びを楽しむ。(例:背中に乗せたり、重ねてかくれんぼしたり等)</li> <li>講:「動物さん、そろそろ帰る時間だって。あれ?また雨が降ってきたよ。動物さんの傘ないね」</li> <li>保:「傘屋~傘はいりませんか~」とプリント持って登場。</li> <li>講:「ちょうど良かった!傘を下さい」</li> <li>保:「はい、どうぞ!」プリントを渡す。</li> <li>数チャレ・講:「傘はいくつある?数えてみましょう」子ども達と一緒に1つずつ指さし、声を出して一緒に数える。「全部でいくつ?」全体数(3個)も把握確認する。</li> <li>講:3つの傘の大きさの比較をして一番大きいゾウから傘に入れて貼っていく(ゴミは皿の中)。この時「(一番小さい傘に入れて)小さ過ぎるね。濡れちゃうね」などの間違え行動も入れながら比較し、ぴったりの傘を見つけていくと良い。「動物さん、雨に濡れないようにみんなもぴったりの傘探してあげようか?」とプリントを配布する。</li> <li>子:講師と一緒に傘の数を確認後、見本同様、比較行動をしながら動物カードをプリントに貼っていく。</li> <li>講:子ども達が貼れたことを確認して「動物さん、これで濡れないね」と称賛後「ありがとうって言ってるよ、良かったね。じゃ、動物さん、またねー」とプリントを回収し、終了する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>P1</li> <li>P1用動物カード3種(ゾウ・ウサギ・ネズミ両面テープ付)</li> <li>Ⅲ</li> </ul>
			保育士の役割
			<ul style="list-style-type: none"> <li>動物カード提示</li> <li>動物カード配布</li> <li>傘屋でプリント提示</li> <li>プリント配布</li> <li>比較に戸惑う子のフォロー</li> <li>称賛</li> <li>プリント回収</li> </ul>
活動②	書く	クレヨンをしっかり握り、5cm以上の力強い縦線を書くことができる	
設問	上の点から下の点までまっすぐな線でつないで、雨をたくさん書きましょう		

教材	<ul style="list-style-type: none"> <li>講：「折角だからみんなも傘差してお散歩したいね？」と提案。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>保：「そう言うと思って、みんなの傘も買っておきましたよ！」とプリント提示。</li> <li>講：プリントを受け取り、子ども達にもプリント配布。 プリントの中の雨（まっすぐ線）に注目して、子ども達と一緒にまずは指で上から下へ「♪ザー♪ザー」とリズムカルに雨をなぞってみる。「そうだこれで（クレヨン）もっと降らせてみようか」と提案。上の点から下の点へ良く見てゆっくりで良い、しっかりとした線を書くように声掛けしながら見本を見せる。 ※クレヨンの蓋を開け使える準備から①「腕まくり」②「クレヨンぎゅ」（しっかりと握る）③「片手はポン」（プリントを押さえる）この一連の見本行動は繰り返ししっかりと見せて身に付けさせていく。 「みんなも雨降らせてみる？」と意欲を引出しクレヨンを配布する。</li> <li>子：クレヨンの準備を整えてから、講師と一緒に「♪ザー♪ザー」をキーワードにして力強く雨を描いていく。 ※この時エレビで演出できると一層楽しく活動が進行できる。</li> <li>講：「もっと降らせようか」と点線以外の部分にも力強く縦線を増やしたり「雨が止んできたよ…♪ポツ♪ポツ」など途中リズムを変えながらタッピングを楽しむ。時間に余裕があれば「真っ白な傘はちょっと寂しいね…みんなは何色の傘が良い？」と問い掛け「そうだ！今日は自分で好きな色に変身させてみようか」と「♪ゴシゴシ」をキーワードにして傘の色塗りを楽しむ。 状況を見て「ストップ！」素敵な傘になったかな？」と傘の見せっこをして称賛したり、「雨が止んだみたい！楽しかったね」と達成感を味わいながらプリント回収して終了する。</li> </ul>
保育士の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>プリントを持って登場</li> <li>プリント、クレヨン配布</li> <li>子どものクレヨンの握り方、プリントの押さえ方確認、指導</li> <li>エレビ演奏</li> <li>称賛</li> <li>プリント回収</li> </ul>

数チャレ	数える	傘の数を指で指して数えることができる	教材
設定	傘はいくつある？数えてみましょう。		おはじき 皿
内容	※<活動①>の中で実施します。		保育士の役割 2つの皿を比較させる

### 出来たかな表

【活動内容】	【ポイント】
シアター	傘が伸びていく不思議さや雨音の変化を感じ取れるように読むことが出来たか
活動①比較	カードを重ねたり手の平で隠したりして、大きさの比較をする工夫を行ったか 個別対応をしながら数の比較が出来たか
活動②書く	上から下に向かって濃い線をしっかりと引くことを見本行動でしっかり見せる事が出来たか
数チャレ	活動①に含む

楽習タイム♪

\*\*\* テーマ・表現 \*\*\*

集まれ集まれ遊び

●お話のストーリーに合わせて「雨が降ってきたよー！集まれ♪」と言いながら大きく広げた布の下に集まるごっこ遊びとして楽しんでもみましょう。

●簡単なリズム遊びとして「この音が鳴ったら集まる」とルールを決めて繰り返すのも盛り上がります。

●家庭では寝る前に「布団の中に集まれ集まれ」と大人も一緒になって楽しんではいかがでしょうか？ また「机の下に集まれ」と防災訓練につなげるのも良いかもしれませんね。



保育の中で繰り返される「集まれ」の行動も、楽しく遊びながら繰り返すことで、この時期の子どもたちの「集団」への意欲を自然と高めてくれます。

今月のえかきリズム

\*\*\* にじ \*\*\*



えかきリズムの動画はこちら 

楽習タイムの動画はこちら 